

# ミッションは「地域資源革新で みんなと幸せに。」

株式会社SUNAO製薬  
代表取締役 廣澤直也

株式会社SUNAO製薬は、宮崎県や九州産の野菜・果物といった食材や廃棄される素材などの「地域資源」に着目し、付加価値を付けて発信することを目指しています。医薬部外品、化粧品、サプリメントの製造（受託製造）や自社ブランド商品の開発・販売が事業の柱で、地元との共同研究も行っています。

令和3年には中小企業庁「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選ばれ、運営するオンラインショップ「すなお食堂」は令和3年、4年に連続で「楽天ショップ・オブ・ジ・エリア 九州・沖縄エリア賞」を受賞しました。

## デザイン経営を基にした 組織づくりと模倣品対策

私たちは、地元の素材を使ったサプリメントや健康食品、化粧品などを開発・製造しています。事業の柱はOEM事業と自社製品事業の2つで、OEM事業では、配合・企画から薬機法や景表法に関する表示のアドバイス、パッケージラベルや容器のデザイン

## INPIT宮崎県知財総合支援窓口（加速的支援） を知った／利用したきっかけ

10年ほど前、INPIT宮崎県知財総合支援窓口の支援担当者が県内の支援先企業掘り起こしのため、多くの企業の中から当社にアプローチ。通常支援が開始され、商標登録出願等の相談をしていた。令和3年に経済産業省九州経済産業局事業の「ハンズオン支援」に当社が採択。そこで専門家（弁理士）からの紹介があり、連携する形で加速的支援を受けた。



### 株式会社 SUNAO 製薬

所在地：宮崎県宮崎市川原町6番21号  
事業内容：医薬部外品・化粧品・口腔ケア  
商材・健康食品等の製造、研究、  
開発及び販売  
従業員：24名 創業：2011年1月  
資本金：100万円  
URL：<https://sunao-seiyaku.com/>

ン、チラシ・POPなど販促物の作成まで対応します。また、地元との共同研究開発を行い、信頼性の高い商品を提供してきました。

令和2年3月に粉末離乳食シリーズ「bebecoまるごと鶏レバー」を発売したところ、ありがたいことに大ヒットしました。その後、事業拡大や中国などでの販売を目指し、令和3年に九州経済産業局の支援プログラム「ハンズオン支援」を受けました。この支援で中国での商標権取得やビジネス展開に関するアドバイスを受けたことから、INPIT宮崎県知財総合支援窓口（以下、「知財窓口」という）の協力を得て外国へ商標登録出願し、中国等で商標権を取得しました。

知財窓口からは10年ほど前から通常支援を受けていましたが、ハンズオン



水や湯を入れるだけ  
「bebeco まるごとおかゆ」



粉末離乳食シリーズ  
「bebeco まるごと鶏レバー」

支援中に専門家(弁理士)から、ハンズオン支援後も連携して支援を継続してくれるINPITの加速的支援を紹介され、デザイン経営・デザイン思考を基にした組織づくりを支援して欲されると聞き、チャレンジしたいと考えました。ヒット商品が出て社員数も増えたため、全社員が同じスキルと考えを共有し、企業としての方向性を一致させておきたかったからです。インナーブランディングを含めた組織づくりのタイミングとしては最適だったと思います。

また、サプリメントや健康食品は、評判が良いと模倣品が出やすいという問題があります。事業開始当初は、道の駅などで見つけた商品を生産者と相談してオリジナルパッケージに変更してもらい、価値を「見える化」し

ていました。例えば、漬物にはこだわりの詰まっているのに明記されず、栄養成分表示がないこともあったので、それらを明確に示し、商品の価値を伝えて販売していたのです。しかし、どうしても模倣する業者は出てきますので、オリジナル性を守るためにも「守備力」を高める必要性を感じていました。

事業を発展させるためにデザイン経営・デザイン思考を組織として定着させ、社員個々のスキルアップを図ること、そして知財の力を活用して守備力を強化することの2軸で加速的支援に申し込むことにしました。

### 支援には全社員が参加 新商品も誕生

支援が始まったときは社員も増えていたので、全員で受けるのにはギリギリの規模だったと思います。月1回、午後半日を使うのは大変ですが、それでも将来への投資だと考え全員で参加しました。

支援は複数の専門家によるワークショップ形式です。テーマはデザイン経営や知財活用、ビジネスモデルの検討などで、チームに分かれて商品企画も行いました。忙しい中でも専門家から課題が出され大変でしたが、社員は楽しみながら取り組んでくれたと思います。支援後に知財検定(知的財産管理技能検定)にチャレンジした社員もいます。

また、支援の流れで生まれた商品もあります。「bebeco 離乳食」シリーズは赤ちゃん向けで、ユーザー当たりの販売期間が限られているため、以前から「子どもの成長に合わせることができると商品を開発した



自社内で試作品製造

### 支援を受けた商品

現在、売れ筋の商品はすべて商標権を取得しており、30件を超えました。ここ数年は、毎年数件ずつ出願を続けており、今後も継続する予定です。



お腹の調子が悪くなりやすい人に向けたプロテイン  
「FODUP」



素材や使用開始目安で選べる粉末離乳食シリーズ  
「bebeco」

らどうか」という話があったのですが、支援中も同様のアイデアが出され、「bebeco こども」シリーズの誕生につながりました。

### 商品企画・開発力の向上 知財による守備力強化

私たちはお客様の様々なニーズに応えるため、あえて製造設備を持たず、それぞれ強みを持つ工場と提携しています。これによりムダを省き、最小限のコストでのモノづくりを実現しています。そのため、お客様との対話から課題を見つけ出し、それを解決する社員一人ひとりの企画力が重要です。そこで、加速的支援の前から社内オンライン上に「アイデア募集箱」を設置して、社員が自由に提案できる仕組みを作っていました。提案を促してもいたので多くのアイデア

## 主な知財

### 特許権

家禽若しくは家畜の肝臓並びに筋肉を原料とする粉末食品の加工方法(特許第7158669号)

### 商標権

SUNAO製菓(登録第5872741号)、FODUP(登録第6442229号)、bebeco(登録第6561630他、香港・台湾含む)、(以下登録番号略)まるごと、アミノシェイク、shutto、九州ドライベジ、まるごと食べ茶、FATH、すなお食堂、……

bebeco こどもシリーズ



知財窓口への相談も、以前は「このアイデアはどうでしょうか」といったかたちの質問でしたが、最近では「調べた結果こういふものがありますか、どうでしょうか」という具体的な打診に変わり、社員全員の商品開発力

が集まり、その中から商品が生まれたこともありました。

一方で、すべてを精査するには時間と労力がかかり、商品化しても売れるとは限りません。そのため、個々の提案のクオリティを高めることの必要性を強く感じていました。加速的支援によってデザイン経営・デザイン思考を取り入れたことで、うれしいことに社員の企画力が高まり、精度の高いアイデアが集まるようになりました。

また、商品開発においても非常に大きな変化がありました。それは、商品開発チームに常に知財をチェックする習慣ができたことです。加速的支援の前は、知財に対する高いハードルを感じていて、例えば知財を通してアイデアを見ることが、他社の知財があるためにそのアイデア

が実行できないといったことも、自分たちで調べることが重要だと感じてはいましたが、実際にはどうやったら良いか分かりませんでした。しかし、加速的支援を受けたことで、新しいアイデアがあれば J・P・I・a・t・P・a・t などを使って権利関係を自分たちで調査し、商品化する・しないの判断ができるようになりました。実際に販売を予定していた商品名と類似のものを発見し、知財窓口を通じて専門家(弁理士)に相談した上で、急遽変更したこともあります。



が向上したことを実感しています。

また、多くの商標権を取得することでビジネス上の安心感が生まれ、逆に「他社が登録しているのでは」という危機意識も高まり、企業としての守備力が強化されました。海外展開についても、リスクが高いことを認識し、商品が売れたとしても供給が追いつかない恐れがあると判断し、慎重に見極めを行っています。これも知財をベースにした守備力向上のおかげだと思えます。

**ミッション・ビジョン・バリューのブラッシュアップ**

私たちは「地域資源革新でみんなと幸せに。」というミッションのもと、地域資源を活用してお客様の課題を解決する商品やサービスを提供しており、それを地域外で販売し、稼ぐことで地域を元気にし、その結果、お客様も地域も私たちが皆ハッピーになるということを目指しています。このミッションは、支援後に大きく変更しました。元々は「地域資源革新でみんなを、幸せに。」だったのですが、社員の意見を受けて「地域資源革新でみんなと、幸せに。」に変更したのです。多くの人に協力していただきながら、私たちが協力を生み出すという想いを込めることができました。

## 加速的支援項目

- 1 役職員の企画力向上
- 2 知財の活用力向上
- 3 中長期的な事業戦略の検討
- 4 中長期的な知財戦略の検討



INPIT 宮崎県知財総合支援窓口の支援担当者

また、長期ビジョンも設定しました。2042年6月までに宮崎拠点で従業員1千人、売上高1千億円、平均年収800万円を達成するというもので、この目標は、イキイキと働く社員が新たな価値を生み出して、世界中に笑顔と幸せを届けることで実現したいと考えています。このビジョンは加速的支援後にミッションに基



イキイキと働く  
笑顔いっぱいの  
皆さん

づいて体制や人の気持ちを整理し、結果として考えついたものです。その中で、知財は絶対切っても切れない要素であり、商標権だけでなく特許権も取得して、競合他社に負けない強さを身に付けるべく活動してい

ます。

### 商標権は見えないところで 売上に貢献

私たちは、商標権を取得した商品を数多く販売していますが、売上は



INPIT 関係者とミーティング

自社製品事業の6割から7割を占めるようになりました。ウェブでも安心して販売できますので、商標権は見えないところで売上に貢献していると思います。ただし、現状では模倣品対策は解決していません。商品名の模倣はなくなりましたが、技術的に真似される可能性があります。今後は特許で完

### 専門家からのコメント

商品開発型の企業で、ほとんどの社員が商品企画に関連していることもあり、商品企画に知財視点を盛り込んだワークショップを、社長を中心に全社員対象に開催できたことは、非常に良い機会だったと思います。若い活力のある会社であり、知識、ノウハウの吸収・実践も早いと思われるので、これからも益々の発展を期待しております。

### 活用専門家

弁理士、デザイン経営専門家

### 加速的支援を受けての効果

- ◎ アイデア提案の質が向上し、商品企画力が組織的に向上した。
- ◎ 商標権の活用が進み、新商品開発や知財を活用した守備力が向上した。
- ◎ デザイン経営を意識した事業戦略の改善が行われた。
- ◎ 知財リテラシーが向上し、知財チェックを習慣化できた。

全にシャットアウトできる商品を開発したいと考えています。知財窓口には大変助けられており、社員も同じように感じています。いい意味でフランクに対応してもらっていますので、高いハードルを感じるようなことは全くありません。相談すれば迅速に回答をもらえ、密

にキャッチボールすることができまので、もし経営課題を抱えているなら、地域のINPIT知財総合支援窓口気軽に相談することを勧めます。経営課題に知財がどう絡むかがピンと来ないかもしれませんが、すべての経営課題に知財は関わっていると思います。

### 廣澤 直也 Naoya Hirozawa

昭和56年生まれ

- 平成23年 株式会社SUNAO製菓設立
- 平成29年 九州・山口ベンチャーアワーズ 地域活性化賞受賞、宮崎ブルーベリー葉栽培連絡協議会 副代表就任
- 平成31年 農水省フード・アクション・ニッポンアワード2019受賞
- 令和3年 宮崎県成長期待企業選定
- 令和4年 九州経済産業局J-startup KYUSHU選定



工業所有権  
情報・研修館